

## 読み物教材例・授業展開例作成に向けて

## 指導第三課道徳教育係

## 1 第16期 中央教育審議会答申の提案を振り返る

「新しい時代を拓く心を育てるために」一次世代を育てる心を失う危機— (平成10年6月30日)  
第4章 心を育てる場として学校を見直そう  
(2) 小学校以降の学校教育の役割を見直そう  
ii) 道徳教育を見直し、よりよいものにしていこう—道徳の時間を有効に生かそう

(f) 道徳の時間に子どもが一目置く地域の人材の力を借りよう

道徳教育の内容は広範にわたるものであり、また、その指導に当たって子どもたちに感動を体験させることが重要であることを考えると、教員が一人ですべての指導を行うという考え方に固執すべきではない。

もとより、すべての教員について道徳教育の指導力の向上を図ることは重要であるが、それだけでは限界があり、子どもたちが一目置く地域の人材の力を積極的に活用していくことが必要である。例えば、地域のスポーツ活動の指導者、伝統文化の継承者、企業の専門家など様々な職業の第一線で活躍している人、あるいは外国人留学生などが、それぞれの実体験に基づいて分かりやすく語りかける機会を設けることが大切である。そうした機会は、子どもたちに深い感銘を与え、ルールを守る大切さ、伝統や文化、地域や国への誇りと愛着、異質なものととの共生、勤労の尊さなどを身に付けさせる一助となると大いに期待される。

地域の人材の活用形態については、特別非常勤講師制度の活用などにより、授業の一部分をゆだねるかたち、あるいは、学期単位などまとまった期間の授業をゆだねるかたちなどが考えられる。各学校においては、様々な方法によって地域の人材による指導を大幅に取り入れていってほしい。

教育委員会については、各学校が地域の人材の活用を積極的に進められるよう、それにふさわしい地域住民を「学校支援ボランティア」として人材バンク化することをはじめ、必要な支援を行っていく必要がある。

(g) 地域住民や保護者の助言を得て道徳教育を進めよう

道徳教育の充実を目指して、体験的な学習を取り入れたり、地域の人材を活用するなど取組を進めていくためには、学校が地域住民や保護者の協力を得ることが不可欠である。地域においても、道徳教育に協力しようという住民は少なくない。各学校の道徳教育について家庭や地域社会の理解と協力を得るための具体的な取組に関しては、調査によれば、「学級、学年、学校通信等を通して行った」、「学級、学年保護者会、PTA総会等の諸会合を通して行った」といったものが多い。その一方で、「全校的な道徳の授業参観を通して行った」、「道徳性を養う学校行事に参加を求めて行った」とする学校は2～3割程度にとどまっているが、今後、こうした取組を一層積極的に進めていくことが重要である。

さらに、各学校において道徳教育を進めるに当たっては、どのような内容に重点を置いて進めるか、どのような教材を用いるかなどといった点について、地域や子どもの実情等を十分に踏まえて検討していくことが求められる。例えば、人間関係が希薄な都市部の学校において、礼儀や思いやりを大切にすることを重点的なねらいとして位置付けていく、あるいは、自然に恵まれた地域の学校において、そこにある山や川、動植物を教材として生かしていくなどといったことが考えられよう。そのような道徳教育の重点の置き方や教材の工夫などの点について、地域や子どもの実情等をよりの確に反映したものとするためには、校長がリーダーシップを発揮して、保護者・PTAや学校外の有識者の意見を聞き、必要に応じて助言を求めらるるようしていくべきである。こうした取組は、一部の教員の恣意によって道徳教育の内容が偏ったものになったり、「道徳の時間」が形骸化してしまうことがないようにする上でも有効と考える。

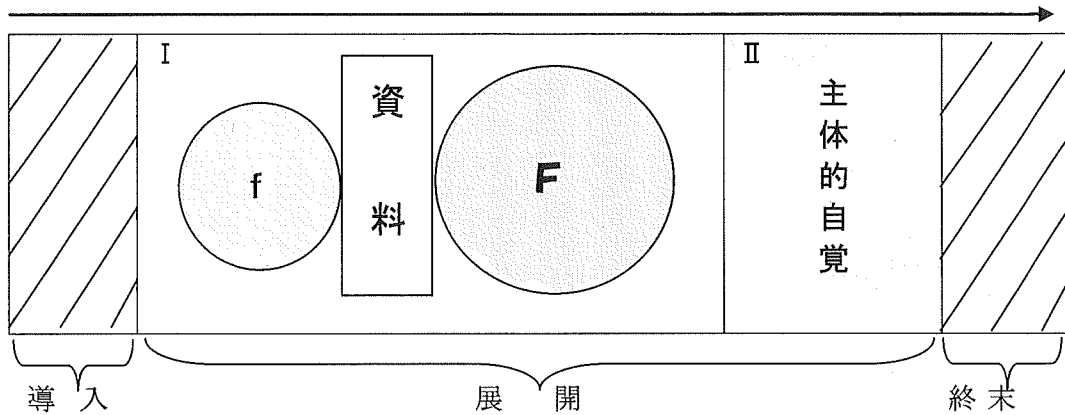
## 2 伝統と文化を大切にしようとする子どもをはぐくむ

《指導過程の工夫〈試案〉》 ※ねらいを効果的に達成するための指導方法の工夫であることに留意しましょう。

活動	道徳的ねらい	留意点	
教科 特別活動 総合的な学習の時間等 (体験活動、調べ学習等)	・道徳的価値に触れ、課題意識をもつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳的価値にかかわる課題意識をもたせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 素材にかかわり、見学や取材をしたり、図書室、インターネットなどで調べたりする。</li> </ul> </li> <li>○ それぞれの思いで伸び伸びと体験活動等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域文化に詳しい人、伝統芸能や工芸の継承者等と交流を図る。</li> </ul> </li> <li>○ 課題意識が連続するよう学習環境を整える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 道徳ノートを活用したり、道徳コーナーを設置(教室等)したりする。</li> </ul> </li> </ul>	
道徳の時間	学習指導過程	学習活動	指導法の工夫
	導入	1 ねらいとする道徳的価値に気付く	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 映像資料や、伝統的な音楽や絵画、実物、新聞記事などを用いて問題意識を掘り起こしたり、<u>主題への興味を喚起</u>したりする。</li> <li>◆ 事前アンケートの結果などを活用する。</li> <li>◆ 友だち同士で事前の体験活動等における互いのよさ等を話し合う。</li> </ul>
	展開	2 資料提示 (資料との出会いを感動的なものにする)  3 ねらいとする道徳的価値について考えを深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域文化に詳しい人や伝統芸能や工芸の継承者等の登場(ゲストティーチャー)、地域素材をもとにした自作資料(BGMを流したり、実物に触れさせることなど積極的に取り入れたい)、VTR、劇化、インタビュー、紙芝居、ペープサート、写真、数名の教師による範読などによって<u>インパクトの強い資料提示</u>になるようにする。</li> <li>◆ 役割演技など表現活動を取り入れたりによって、具体的な模擬体験を通して相手の心情や考えを感じとらせる。</li> <li>◆ 実際の体験活動や調べたこと等を想起することで、自己のものの見方や考え方、感じ方についてみつめ、そのよさや課題に気付くようにする。 その際、小グループによる話し合いを行い、地域文化に詳しい人、伝統芸能や工芸の継承者等に加わっていただき支援をお願いすることも考えられる。</li> </ul>
	終末	4 道徳的実践への意欲を高める  5 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 主人公に手紙を書いたりアドバイスをしたり、逆に主人公の立場で自分に手紙を書いたりしてみる。</li> <li>◆ 地域文化に詳しい人、伝統芸能や工芸の継承者等を招いて話を聞いたりする。</li> <li>◆ 教師の話聞く。 その際、文化や伝統についての教師の体験、願いなどを素材とするだけでなく、印象的な題材を日常から集めておき、適宜生かすようにする。</li> <li>◆ 次への体験活動や日常生活に生かそうとする意欲付けをする。</li> </ul>
教科 特別活動 総合的な学習の時間等 (体験活動、調べ学習等)	・道徳的実践をめざす	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの主体的な活動になるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 授業の中からよさの芽を見出し、さらにそれを伸ばすための手立てや、よさの芽が伸びるのを妨げている部分の克服に関する課題等を個別に考えていく。</li> <li>◆ 道徳の授業に関すること(子どもの様子など)を学級通信等で保護者等に伝え、連携を図る。</li> </ul> </li> <li>○ 道徳的価値の内的自覚を生かし、意欲的に活動する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 具体的な体験の場を意図的に設ける。</li> </ul> </li> </ul>	

【参考】 指導過程の基本型（「新道徳教育実践講座・1 自己を見つめる」瀬戸 真（編）から）

指導の流れ



導入 段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雰囲気づくり</li> <li>○ 資料や資料名への導入</li> <li>○ ねらいとする価値への動機付け</li> </ul>
展開 段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1の要件 f（常識的な道徳的価値観）をF（一歩高められた価値観）に高めること。 学習上の役割は、ねらいとする道徳的価値について、資料を通して追求し、把握（胸にす とんと落ちる状態：実感・納得が生まれること）すること。</li> <li>○ 第2の要件 気付いた、いわば高められた価値観に照らしてみ、今までの自分はどうかであったかを見つ めること。 これからの自分がどうすべきかではなく、今までの、事実としての自分、事実としての 自分の道徳性にかかわる行為の傾向、考え方、感じ方の傾向、さらには自分の生き方の傾向 性に目を向け、自分を知ることである。 どうすればいいかは、それぞれの児童・生徒がそれぞれ対応し、解決しなければならない 状況や立場に立たされたときに、それぞれが自己の決断において行為を決定すればよい。 道徳の時間は、まさにそうした内面の動機となる意味づけを、正しい価値を知り、感得する ことによって行うことである。</li> </ul> <p>【資料の要件】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ねらいとする価値に、全ての児童・生徒が、無理なく効果的に気付き深めることができる こと。</li> <li>○ 資料に触れることによって、ただ一つの考え方、感じ方、つまり価値観に単純にまとまっ てしまうのではなく、むしろ、多様な考え方、感じ方、つまり価値観を引き出すことができ るものであること。</li> <li>○ 主として判断力を育てる場合でも、主として心情を深める場合でも、正しい判断力を導き 出す要素と、とき澄まされたしかも豊かな感情、つまり心情を引き起こす要素をもっている こと。</li> </ul>
終末 段階	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に避けたいこととして、行為に結びつけること、決意表明を強いることである。 (そうすることによって、道徳の時間の特質を、学級指導の特質に変えてしまうことにもなり かねない。)</li> </ul>

指導過程の基本を十分に理解し身に付けた上で、さらに多様な指導過程を工夫していくことが望まれる。

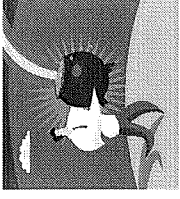
分野	名前	所属校	資料名(素材名)	主 題	内容項目				校種・学年			
					1	2	3	4	低	中	高	中
先人の伝記	木村 智子	呉市立三坂地小学校	「希望の光」	希望	(2)							◎
	奥田 健	大竹市立小方小学校	「和田吉左衛門物語 ～新たな地を求めて～」	郷土愛				(7)				◎
	津秋 智子	廿日市市立宮園小学校	「そうかさああの石 ～上田宗箇～」	個性の伸長 思いやり	(5)	(2)				◎		◎
	福田ゆりえ	坂町立横浜小学校	「青き一筋の光をもとめて ～畝 為吉物語～」	郷土愛				(7)				◎
	松永美代子	尾道市立日比崎中学校	「夢とロマンを追い求めて ～彫刻家 國澤勝三～」	理想の実現	(4)							◎
自然	内田真千代	府中市立上下南小学校	「わたしが行くかねば」	強い意志	(2)							◎
	岩見 文彦	安芸高田市立吉田小学校	「700歳の大杉」	郷土愛				(5)	◎			
	今田富士男	安芸太田町立戸内中学校	「恐羅漢」	生命尊重 畏敬の念			(1) (2)					◎
	松葉 伸恵	神石高原町立豊松小学校	「モリアオガエルを守る」	自然愛護 郷土愛			(2)	(7)				◎
	小原 智穂	三次市立田幸小学校	「待月」	畏敬の念			(3)					◎
	石村 誠	庄原市立東小学校	「時をおよぐクジラ」	生命尊重 自然愛			(1) (2)					◎
	溝上 孝弘	竹原市立竹原西小学校	「三枚の写真」	郷土愛				(7)				◎
	寺川 博人	東広島市立高屋西小学校	「百試千改の夢」	希望・努力 郷土愛	(2)			(7)				◎
	清野由美香	府中町立府中緑ヶ丘中学校	「僕らの手で受け継ぐ」	郷土愛				(8)				◎
	田中 敬子	熊野町立熊野第四小学校	「ジブリ絵職人のアニメ筆」	創意進取 勤勉努力	(2) (5)							◎
伝統と文化	村上 由里	大崎上島町立大崎上島中学校	「大崎上島の懼伝馬」	郷土愛				(7)				◎
	新川 靖	北広島町立八重東小学校	「みぶの花田うえ」	郷土愛				(5)	◎			
	池田 明子	福山市立野々浜小学校	「日本一の琴づくり ～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～」	希望、努力	(2)							◎
	中下 正美	江田島市立高田小学校	「ゆめにむかって ～栗原選手のゆめ～」	勤勉努力	(2)							◎
	税所 正紀	海田町立海田小学校	「強いものは美しい ～日本人初の金メダリスト 織田幹雄～」	不撓不屈	(2)							◎
	平松 理恵	三原市立西小学校	「今を一生懸命 ～日本女子体操を支えた池田敬子さん～」	希望、努力	(2)							◎
	重森恵美子	世羅町立大田小学校	「心のたすきをつなぐ」	役割と責任の自覚				(3) (4)				◎
	鎌山 員子	広島市立瀬野川中学校	「風を感じて」	目標への努力 生きる喜び	(2)		(3)					◎

【参考1】平成22年度 開発教材一覧

分野	名前	所属校	資料名等	授業展開例	
				A	B
先人の伝記	木村 智子	呉市立三坂地小学校	「希望の光」	小学校高学年 1 - (2) 希望	
	奥田 健	大竹市立小方小学校	「和田吉左衛門物語～新たな地を求めて～」	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛	
	津秋 智子	廿日市市立宮園小学校	「そうかさあゝの石～上田宗箇～」	小学校高学年 2 - (2) 思いやり	小学校高学年 1 - (5)
	福田ゆりえ	坂町立横浜小学校	「青き一筋の光をもとめて ～敬 為吉物語～」	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛	
	松永美代子	尾道市立日比崎中学校	「夢とロマンを追い求めて ～彫刻家 園鋳勝三～」	中学校 1 - (4) 理想の実現	
	内田真千代	府中市立上下南小学校	「わたしが行かねば」	小学校高学年 1 - (2) 強い意志	
	岩見 文彦	安芸高田市立吉田小学校	「700歳の大杉」	小学校低学年 4 - (5) 郷土愛	
	今田富士男	安芸太田町立戸河内中学校	「恐羅漢」	中学校 3 - (2) 畏敬の念	中学校 3 - (1) 生命尊重
	松葉 伸恵	神石高原町立豊松小学校	「モリアオガエルを守る」	小学校高学年 3 - (2) 自然愛	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛
	小原 智穂	三次市立田幸小学校	「待月」	小学校高学年 3 - (3) 畏敬の念	小学校高学年 3 - (3) 畏敬の念
自然	石村 誠	庄原市立東小学校	「時をおよぐクジラ」	小学校高学年 3 - (2) 自然愛	小学校高学年 3 - (1) 生命尊重
	溝上 孝弘	竹原市立竹原西小学校	「三枚の写真」	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛	※竹原市 小低・中・高, 中学作成中
	寺川 博人	東広島市立高屋西小学校	「百詠千改の夢」	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛	小学校高学年 1 - (2) ※資料有
	清野由美香	府中町立府中緑ヶ丘中学校	「僕らの手で受け継ぐ」	中学校 4 - (8) 郷土愛	
	田中 敬子	熊野町立熊野第四小学校	「ジブリ絵職人のアニメ筆」	小学校高学年 1 - (5)	小学校高学年 1 - (2) ※資料有
	村上 由里	大崎上島町立大崎上島中学校	「大崎上島の權伝馬」	小学校高学年 4 - (7) 郷土愛	
	新川 靖	北広島町立八重東小学校	「みぶの花田うえ」	小学校低学年 4 - (5) 郷土愛	※北広島町 小低・中・高, 中学作成
	池田 明子	福山市立野々浜小学校	「日本の琴づくり ～こだわりの伝統工芸士 藤田房彦～」	小学校高学年 1 - (2) 希望, 努力	指導方法
	中下 正美	江田島市立高田小学校	「ゆめにむかって～栗原恵選手のゆめ～」	小学校高学年 1 - (2) 勤勉, 努力	
	税所 正紀	海田町立海田小学校	「強いものは美しい ～日本人初の金メダリスト 織田幹雄～」	小学校高学年 1 - (2) 不撓不屈	指導方法
スポーツ	平松 理恵	三原市立西小学校	「今を一生懸命 ～日本女子体操を支えた池田敬子さん～」	小学校高学年 1 - (2)	
	重森恵美子	世羅町立大田小学校	「心のたすきをつなぐ」	小学校高学年 4 - (3) 役割と責任の自覚	中学校 4 - (4)
	鍵山 員子	広島市立瀬野川中学校	「風を感じて」	中学校 3 - (3) 生きる喜び	中学校 1 - (2) 目標への努力

【参考2】「道徳の内容」と「心のノート」

《1 主として自分自身に関すること》



学年段階・学校段階		道徳の内容	心のノート (※ ⇒ は、このページの特長)
小学校	低学年	(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。	<b>しっかり やろう</b> PP. 18-21 ⇒ やらなければならないことの確認から
	中学年	(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。	<b>目標をもってやりぬく</b> PP. 16-19 ・「今よりよくなりたい」という心をもとう ・続けるひけつは？ ⇒ 目標を立ててそれを続けることの大切さを知る
	高学年	(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。 (3) 大切にし、自律的で責任のある行動をする。	<b>目標に向かって生きる</b> PP. 16-19 ・夢に届くまでのステップがある ・目標に向かう道にはいろいろなことがある ⇒ 「ヒーロー」「ヒロイン」の生き方は子どもの心を奮い立たせる <b>自由を大切に 責任をもって</b> PP. 20-23 ・自由ってなんだろう ・あなたの自由な思いをかがやかせるために自分に対する責任をもとう ⇒ 自立性や責任が伴ってこそ自由な思いも輝く
中学校	中学校	(2) より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	<b>目標に向かうくじけない心を大切にしたい</b> PP. 22-25 ・ステップアップのために ・努力することによってすばらしい ⇒ 目標に向かつて努力することの価値とすばらしさを感じていく
	低学年		
	中学年		
小学校	高学年	(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。	<b>新しいものを求めて</b> PP. 28-31 ・好奇心が出発点 ・新しいものを求めること ⇒ 好奇心が創造的で楽しい生活をつくる力となる
	中学校	(4) 真理を愛し、真実を求め、理想の表現を目指して自己の人生を切り拓いていく。	<b>理想をもって前向きに生きよう</b> PP. 30-33 ・自分の人生は自分の手で切り拓こう ・夢や理想をもちそれに向かつて一歩一歩進んでいく姿はたのしいもの ⇒ 理想を実現しようと願う自分の真の思いを明らかに
	小学校		

勤 勉 努力, 希望, 勇気, 努力, 強い意志, 自由・規律

真理, 創意進取, 理想の表現

《2 主として他の人とのかわりに関すること》



学年段階・学校段階		道徳の内容	心のノート (※ ⇒ は、このページの特長)
小学 校	低学年	(2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。	<b>あたたかい心で</b> PP. 40-43 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あたたかい心をどけよう ⇒ 子どもの心の温かさはひまわりの花</li> </ul>
	中学年	(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。	<b>相手の気持ちを考えて親切に</b> PP. 40-43 <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりの心をさがそう ・身につけよう 人の心を感じる力 親切はみんなの喜び ⇒ 人が喜んでくれると 自分もうれしくなる</li> </ul>
	高学年	(2) だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にする。	<b>思いやりの心をもち親切に</b> PP. 44-47 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの心にあるそのあたたかさ ・いろいろな形で伝えることができる ⇒ 思いやりを深める心の動きとその伝え方を考える</li> </ul>
中学校	中学校	(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対して思いやりの心をもつ。	<b>温かい人間愛につつまれて</b> PP. 48-51 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思いやり」って・・・なんだろう? ・思いやりの心は、きつとあたたかい ⇒ 人の心には相手を思いやる温かい心情が必ずある。そんな思いを、心のひだから誘い出す</li> </ul>
		(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。	<b>ありがとうが いっぱい</b> PP. 48-51 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうを さがそう ⇒ 太陽のようなキャラクター・・・「ありがとう」</li> </ul>
		(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもちて接する。	<b>感しやの気持ちをもつて</b> PP. 48-51 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなにささええられている わたし ・今のくらしをつくってくれたお年よりたち ⇒ 多くの人に支えられている自分を感し 感謝の気持ちをもつ</li> </ul>
小学 校	低学年	(5) 日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。	<b>感謝しそれにこたえる</b> PP. 56-59 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ありがとう」って言えますか? ・支えてくれる、その思いを感じよう その思いに、こたえよう ⇒ みんなに支えられている自分 それにこたえてどう生きる?</li> </ul>
	中学年	(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。	<b>人々の善意や支えにこたえたい</b> PP. 64-67 <ul style="list-style-type: none"> <li>・気づいていますか ありがたい心の贈り物に・・・ 「ありがとう」の思いを込めて ⇒ 「心の贈り物」に素直に向き合おうとするヒントが・・・</li> </ul>
	高学年		
中学校	中学校		
尊敬、感謝			

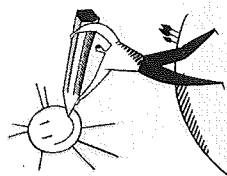


《3 主として自然や崇高なものとかかわりに関すること》

学年段階・学校段階		道徳の内容	心のノート(※) ⇒ は、このページの特長
生命尊重	低学年	(1) 生きることを喜び、生命を大切にすることを心をもつ。	<b>いのち きらきら</b> PP. 56-59 ・みんなみんな生きているよ ⇒ 生きる喜びを感じて元気パワーを付けていこう PP. 56-59
	中学校	(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切ににする。	<b>ひとつしかないいのちを大切に</b> PP. 56-59 ・生きているってどんなこと ⇒ 「生きる」ということの意味を考える ・かけがえのないいのちだから、みんな助け合って生きている みんな一生けんめい生きている
	高等学校	(1) 生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。	<b>命の尊さを感じて</b> PP. 64-67 ・いま生きているわたしを感じよう ⇒ 支えられている自分の生命を感じ もっと輝かせたい
自然愛、動植物愛護、畏敬の念、環境保全	中学校	(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。	<b>限りあるたったひとつの生命だから</b> PP. 72-75 ・かけがえのない命 一だれもが唯一無二の存在 ・生と死について考えよう ⇒ 今というこの一瞬一瞬を精一杯生きようとする姿勢を培っていく
	低学年	(2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。	<b>しぜんとなかよく</b> PP. 60-63 ・生きものをそだてよう ・外であそぼう ⇒ 一生けん命に生きている生き物にふれ共感する心を
	中学校	(2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。	<b>自然と仲よくくらす</b> PP. 60-63 ・植物も動物もともに生きている ・植物や動物と仲よくくらす ⇒ 自然のすばらしさや不思議さを体いっぱい感じて
生命尊重	小学校	(2) 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。	<b>自然とともに生きる</b> PP. 68-71 ・生きているんだね 自然とともに ・美しい自然ずっとこのままで—もともと自然こふれ、感じてみよう わたしたちに何ができるのだろうか？ ⇒ 自然を大切にすることは自分たちを大切にすること
	中学校	(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	<b>自然のすばらしさに感動できる人でありたい</b> PP. 76-79 ・悠久の時間の流れ この大自然 ・大自然に何を思う ⇒ 改めて自然のすばらしさに気付く、自然を愛護するのは自分たちなのだという強い意識を生み出す

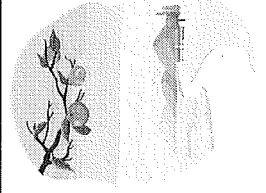


学年段階・学校段階		道徳の内容	心ノート (※) ⇒ は、このページの特長
敬虔	小学校	(3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。	うつくしいものを かんじて PP. 64-67 ⇒ 「きれいだなあ」と感じるみずみずしい心をほぐくむ ⇒ 心いっぱいにかんじよう
		(3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。	美しいものに感動する心を PP. 64-67 ⇒ 自然の美しさにふれて ・人の心の美しさにふれて 美しい心をさがしてみよう ⇒ 美しさや気高さに心から感動できる子どもに
		(3) 美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。	畏敬の念をもつ PP. 72-75 ⇒ 大いなるものの息づかいをきこう ⇒ 人間の力を超えた「大いなるもの」について考える ⇒ 感動し心をうたれたことがある ⇒ 人間の力を超えたものがある 人間には人に感動をあたえる美しい心がある
弱さの高揚、生きる喜び	中学校	(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	自然のすばらしさに感動できる人でありたい PP. 76-79 ⇒ 悠久の時間の流れ この大自然 ・大自然に何を想う ⇒ 改めて自然のすばらしさに気づき、自然を愛護するのは自分たちなのだという強い意識を生み出す
		(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びをみいだすように努める。	良心の声を聞こう PP. 80-83 ⇒ かみしめたい人間として生きるすばらしさ ⇒ 「いまからのわたし」を育てていきたい 一良心に恥じない誇りある生き方 ⇒ 自分の中にある弱さや醜い考えを断ち切ることができたとき、そこそが人間としての強さであり、気高さであること、そして、そのすがすがしさに人間としての生きる喜びを感じ取れるようにする



4 主として集団や社会とのかかわりに関すること》

学年段階・学校段階	道徳の内容	心のノート(※) ⇒ は、このページの特長)
役割・責任、集団生活の向上	<p>(3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>(4) 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</p>	<p>集団の中での役割を自覚して PP. 88-91</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いまいきましている自分 かがやいている仲間 ⇒ 様々な集団の重なりの中で自分が成長する</li> <li>・ どんな役割でも、その役割がなければ成り立たない。一人一人が主役なんだ。</li> </ul> <p>仲間がいてキラリと光る自分がいる PP. 104-107</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団、そして一人一人が輝くために ・ 集団の中の自分に胸を張れ!!</li> <li>⇒ 自己と集団とのかかわりについて考えを深めていく</li> </ul>
		<p>わたしを そだてる 町 PP. 88-91</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あなたがそだつ町 ⇒ 町のことを知り 親しむことが これからの心の支えに</li> </ul> <p>ふるさとのよさを見て大切に PP. 88-91</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしたちの心を育ててくれるふるさと ⇒ 自分のふるさとのよさに親しみ、それを心に残す</li> </ul> <p>郷土や国を愛する心を PP. 104-107</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つめよう わたしのふるさと そしてこの国 ・ 語りつぎ 受けつぐ日本らしさ</li> <li>⇒ 郷土のよさ わが国のよさを再発見</li> </ul>
		<p>郷土をもっと好きになろう PP. 120-123</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここがわたしのふるさと ここにはいつもの風景 いつもの音 そしていつもの顔がある</li> <li>・ ふるさに自分ができていることはなんだろうか</li> <li>⇒ 郷土に対する意識や愛着といった思いはだれもがもっているはず。そのことに気付き、郷土の発展に貢献しようとする心をはぐくむきっかけをつかむ</li> </ul>
郷土愛	<p>(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。</p> <p>(6) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。</p> <p>(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p>	<p>わたしを そだてる 町 PP. 88-91</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あなたがそだつ町 ⇒ 町のことを知り 親しむことが これからの心の支えに</li> </ul> <p>ふるさとのよさを見て大切に PP. 88-91</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ わたしたちの心を育ててくれるふるさと ⇒ 自分のふるさとのよさに親しみ、それを心に残す</li> </ul> <p>郷土や国を愛する心を PP. 104-107</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見つめよう わたしのふるさと そしてこの国 ・ 語りつぎ 受けつぐ日本らしさ</li> <li>⇒ 郷土のよさ わが国のよさを再発見</li> </ul>
		<p>郷土をもっと好きになろう PP. 120-123</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここがわたしのふるさと ここにはいつもの風景 いつもの音 そしていつもの顔がある</li> <li>・ ふるさに自分ができていることはなんだろうか</li> <li>⇒ 郷土に対する意識や愛着といった思いはだれもがもっているはず。そのことに気付き、郷土の発展に貢献しようとする心をはぐくむきっかけをつかむ</li> </ul>
		<p>郷土をもっと好きになろう PP. 120-123</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここがわたしのふるさと ここにはいつもの風景 いつもの音 そしていつもの顔がある</li> <li>・ ふるさに自分ができていることはなんだろうか</li> <li>⇒ 郷土に対する意識や愛着といった思いはだれもがもっているはず。そのことに気付き、郷土の発展に貢献しようとする心をはぐくむきっかけをつかむ</li> </ul>
中学校	<p>(8) 地域社会の一員としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。</p>	<p>郷土をもっと好きになろう PP. 120-123</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここがわたしのふるさと ここにはいつもの風景 いつもの音 そしていつもの顔がある</li> <li>・ ふるさに自分ができていることはなんだろうか</li> <li>⇒ 郷土に対する意識や愛着といった思いはだれもがもっているはず。そのことに気付き、郷土の発展に貢献しようとする心をはぐくむきっかけをつかむ</li> </ul>



## 【引用・参考文献】

- ・文部科学省（平成20年）「小学校学習指導要領」
- ・文部科学省（平成20年）「中学校学習指導要領」
- ・文部科学省（平成20年）「小学校学習指導要領解説 道徳編」
- ・文部科学省（平成20年）「中学校学習指導要領解説 道徳編」
- ・第16期 中央教育審議会答申（平成10年）
- ・文部科学省（平成21年）「心のノート 小学校1・2年」平成21年度改訂版
- ・文部科学省（平成21年）「心のノート 小学校3・4年」平成21年度改訂版
- ・文部科学省（平成21年）「心のノート 小学校5・6年」平成21年度改訂版
- ・文部科学省（平成21年）「心のノート 中学校」平成21年度改訂版
- ・文部科学省（平成21年）『心のノート 小学校』活用のために』平成21年度改訂版
- ・文部科学省（平成21年）『心のノート 中学校』活用のために』平成21年度改訂版
- ・瀬戸真（編）（昭和61年）「新道徳教育実践講座・1 自己を見つめる」教育開発研究所